

安全データシート

作成日 2014年12月1日

改訂日 2018年 7月1日

1. 製品及び会社情報

製品名 ドライ・アスモル(現場加熱式アスファルトモルタル)
会社名 墨東化成工業株式会社
所在地 〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番14号
電話番号 03-3635-1111(代表)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 ※注1

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系)

区分の記載がない項目は、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素 ※注1

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

必要に応じ、保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
廃棄 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
依頼して廃棄すること。

他の危険有害性 本製品に含まれるアスファルトには硫黄分が含まれる。
加熱・混練する際に、硫化水素や一酸化炭素が発生するおそれがあるので、
煙やガスを吸引しないこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学名または一般名	現場加熱式アスファルトモルタル
成分	骨材(砂) 80%以上 アスファルト 3～15% 添加剤(非公開) 3～15%
化学式(示性式)	特定できない。
官報公示整理番号	該当なし。
CAS番号	該当なし。(本製品に含まれるアスファルト 8052-42-4)
危険有害成分	該当なし。
その他	該当なし。

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	水と石鹼で十分に洗い落とす。
目に入った場合	多量の水で十分に洗い、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡等の消火剤。
使ってはならない消火剤	棒状注水の場合、火災を拡大する場合がある。

本製品は、骨材(碎石、砂)が成分の90%以上を占め、引火性はない。ただし、直火で長時間加熱した場合に、本製品に含まれるアスファルト等の油分に着火する場合がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	直接触れないようにする。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはならない。
保護具及び緊急時措置	必要に応じ、保護手袋や保護眼鏡等を着用する。
回収方法及び機材	スコップ、ほうき等を使用し、飛散しないように取り除く。 河川や下水に漏出した場合は、直ちに関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	敷き均す前に、舗装用プロパンバーナー等で材料を加熱しながら混練する。 敷き均した後、プレートコンパクタ等を用いて転圧する。
注意事項	道路補修、舗装の仮復旧以外の用途には使用しない。 他の油やアスファルト、薬品等を混入しない。

製品の取扱説明及び注意書きを読むこと。

安全取扱い注意事項 保護手袋を着用し、直接触れないようにする。
必要に応じ、保護眼鏡等を着用する。
舗装用プロパンバーナー等で材料を加熱する際は、周囲に引火延焼の危険性がないことを確認してから使用する。
加熱・混練する際に、硫化水素や一酸化炭素が発生するおそれがあるので、煙やガスを吸引しないこと。
煙やガスの吸引を避けるため、作業の際は換気をよくし、風上に立つようにする。
加熱・混練する際は、必要に応じ保護マスクを着用する。

保管

適切な保管場所 雨水・異物等の混入や高温を避けるため、倉庫等で保管する。
安全な容器・梱包材料 袋に入れたまま保管し、袋を開けたら当日中に使い切るようにする。
一時保管する場合は、袋を密封する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

作業の際には換気をよくする。
室内で取り扱う場合は、排気装置を設置する。

保護具

呼吸用の保護具 加熱・混練する際は、必要に応じ保護マスクを着用する。
身体の保護具 保護手袋、長袖の作業衣を着用する。
必要に応じ、保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状 固体
色 黒色
臭い 油分由来の臭気がある。
密度 2.0～2.2(転圧後)

本製品に含まれるアスファルトについて、性質は次の通りである。※注2

沸点 >300℃
融点 54～173℃
引火点 >200℃ (測定条件:closed cup)
発火点 >485℃
水への溶解性 溶けない。

10. 安定性及び反応性

安定性 通常の使用条件では安定している。
反応性 情報なし。
避けるべき条件 情報なし。
混触危険物質 情報なし。
危険有害な分解生成物 情報なし。

11. 有害性情報

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	GHS分類:区分2
生殖細胞変異原性	GHS分類:区分2
発がん性	GHS分類:区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	GHS分類:区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	GHS分類:区分1(呼吸器系)
その他	本製品に含まれるアスファルトには硫黄分が含まれる。 加熱・混練する際に、硫化水素や一酸化炭素が発生する おそれがあるので、煙やガスを吸引しないこと。

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし。
残留性・分解性	情報なし。
生体蓄積性	情報なし。
土壤中の移動性	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	法令に従い、適正に処理をする。
汚染容器・梱包	法令に従い、適正に処理をする。

14. 輸送上の注意

国内法規制	法令で定められている基準に従う。
国際法規制	IMDGコード(国際海上危険物規則)、IATA(国際航空運送協会)規則に従う。
国連分類	分類基準に該当しない。
安全対策及び条件	転倒・落下・衝突を避け、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

国内適用法	
労働安全衛生法	本製品に含まれるアスファルトについて、安全データシートの交付、ラベル表示、リスクアセスメントの実施が必要な物質である。(施行令別表第9)

16. その他の情報

- ※注1 政府によるGHS分類結果「アスファルト(ストレートアスファルト)」に記載の情報による。
- ※注2 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版「アスファルト」に記載の情報による。

当シートの記載内容は現時点の最善の調査に基づき作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得ますので、取扱いには注意が必要です。使用者の責任において安全な条件を設定するようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

当シートは、日本の国内法規を基準に作成したものです。